リーディングDXスクール事業 【実践事例】

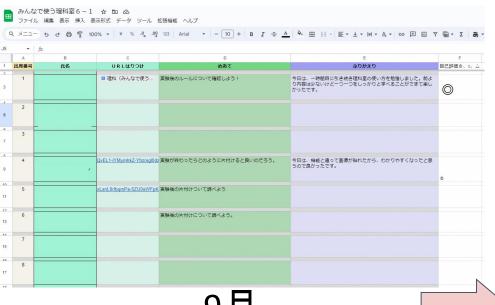
宮古島市立鏡原小学校

【取組内容①】 個別最適な学び個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

ICTの効果的活用の実践(1)

- ○「タブレットPC」使用 ⇒児童の学習意欲の向上や学習履歴の見返しが可能
- 〇「ペア・グループ学習がPCでも可能」 ⇒ジャムボード
- ○「他者の考えが参照できる」 ⇒スプレッドシート
- ○「アンケート活用がスムーズ」 ⇒フォーム
- 〇「教材のペーパーレス化」 ⇒ジャムボード

6年生 理科「スプレッドシート」を利用してのめあて・ふりかえりの学習履歴の見返し



ų,			UU76 * # 75 .00 .00	153 Miles T - 10 + B T - A	<u>♦</u> ⊞ 53 - = + + + + + 4 + ← ± L	T '⊞ * 2 d
1		fx	C	_	E	E
	A	B FE-8	URLはりつけ	D めあて	ありかまり	自己評価の、。、△
	1	Deti	https://docs.google.com/doc ument/d/1Ec3A2B0Ho7ZqK gd69hOQouZro8Wxo8BNef	5年生に習った「読す水のはたらき」について思い出しなが ら写真を見て不思議に思ったことをまとめよう!	今日は振り返ることもできたし、自分が気づかない事も築くこと ができた。	0
	2			5年生の「流れる水の働き」を思い出しながう、写真を見て不 思議に思ったことをまとめる。		
	3			5年生の「流れる水の製き」を思い出しながら写真見て不思議 に思ったことをまとめよう。		
	4			思議に思ったことをまとめよう。	今日は、5年生での蓄ったことをしっかり振り返られたから良かったです。	0
	5			5年生の「流れる水の働き」のついて思い出しながら写真を 見て不思議に思ったことをまとめよう	5年生の学習を思い出すことができた。	0
	6		□大地のつくりと変化	5年生の「流れる水の働き」を思い出しながら、写真を見て不 思議に思ったことをまとめる		
	7		□ 理科 大地のつくりと 変化	5年生の「流れる水の働き」を思い出しながら、写真を見て、 不思議に思った事をまとめる		
5	8			5年生の「流れる水の働き」を思い出しながら、写真を見て、 不思議に思った事をまとめる	5年生で学習したことを思え出せた	

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

宮古島市立鏡原小学校

【取組内容①】

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

ICTの効果的活用の実践②「特別支援・知的学級」

- ○「授業の流れをクラスルームで」 今日の学習の流れをクラスルームに「学習課題」「情報収集」「整理と分析」 「まとめと振り返り」として掲示し、子どもたちが個々で学習に取り組めるように なった。
- ○「休み時間や空き時間にタイピング練習」 タイピングソフトを活用し、タイピングの練習を行う。キーボードにローマ字シールを貼ることで低学年の子どもたちもキーボード入力が上達した。

特別支援学級一日の流れ

タイピングが苦手な児童への支援



1 国語・・・こくごの力13・14・15

2 算数・・・かけざんプリント

3 国語・・・国語ノートにかんじのれんしゅうを2ページ

4 算数・・・テスト

5 国語・・・国語ノートにかんじのれんしゅうを2ページ



クラスのコメントを追加...



【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

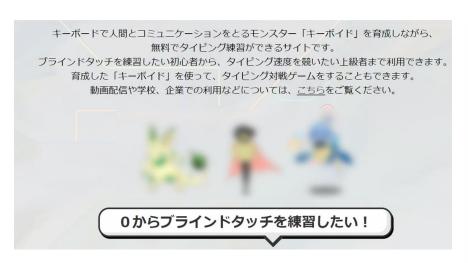
ICTの効果的活用の実践(3)

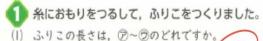
○「タイピングの効果的な練習」

土日に持ち帰らせ、日記を書かせることでタイングの練習につなげた。またタイピングソフトでタイピングの練習を行った。そして校外学習をしたあとの、新聞作りなどでタイピングのスキルを身に付けた。

○「その日の学びと連動した家庭学習の充実」

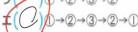
ドリルソフトで宿題を出したり、ジャムボードでオリジナルの問題を作成し配布 (右下の図) したりすることで効果的活用を図った。

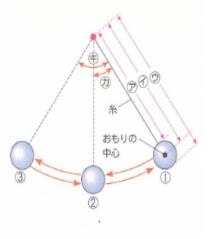




- (2) ふりこのふれはばは、 の、 争のどちら
- (3) ふりこを①からふらせます。ふりこの | 往復とは、どこからどこまでですか。正しいものに○をつけましょう。

- 1()()→2)→3
- 9 →2 →3 →2





【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

〇「ペーパーレス化」

リーディングDXスクール事業実践前は、職員会議資料や校内研修資料は、紙媒体で綴っていた。提案資料回収に時間がかかったり、紙なので印刷したり、まとめるために相当の時間を要した。事業実践後は、「ペーパーレス化」を図っている。会議や研修に係る紙媒体の印刷・製本がなくなり、それに係る作業時間の削減が可能になっている。

〇「チャットの活用」

DX実践前は、会議資料及び研修資料等の「共有資料」は、「校務支援システム」や「NAS」を通してのデータの保存であったり、データの送受信であったり、さらには紙媒体による共有方法であった。DX実践後は、アドバイザーの助言もあり、

「チャット」活用し始め、現在では、データの送受信や諸連絡等もチャットで行い、 情報共有の一元化が図られつつある。また、授業実践の共有や教材研究等の学び合 いを可能にしている。

○「校内研修のICT活用」

ペーパーレス化は基より、授業研究会においては、教員個々がノートPC(タブレットPC)を持参し研究協議している。その中で、「ジャムボード」の「付箋機能」を使用し、グループ協議(ワークショップ型)している。教員個々の意見がその付箋に反映されること、そして全体協議の情報共有の場面でも、電子黒板に投影された資料が共有されること、さらには、データ保存により、必要に応じてふり返りもできる良い点が生まれている。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

宮古島市立鏡原小学校

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

〇「ペーパーレス化」「チャットの活用」

「校内研のICT活用」

